



がくとくとおんぶちやん

こおりやま 市議会だより

第191号 - 令和元年12月定例会 -



元気にみんなで登校！
自校での授業を再開した赤木小学校の児童たち



郡山市

発行日：令和2(2020)年2月1日

発行：郡山市議会

編集：こおりやま市議会だより編集委員会

〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号

TEL 024-924-2521 FAX 024-938-2810

メールアドレス soumugiji@city.koriyama.lg.jp

主な掲載内容

12月定例会のあらまし	2頁
常任委員会の審査状況	2頁
議案の賛否一覧	3頁
市政一般質問	4～12頁
ぜひ、市議会へお越してください！	13頁
議会改革特別委員会の設置	14頁
政務活動費検討委員会の設置	15頁

令和元年12月定例会のあらまし

災害からの公共インフラ復旧経費を含む一般会計補正予算など議案43件、議案案1件を可決、議会改革特別委員会を設置

12月定例会を、12月2日から17日までの16日間にわたり開催しました。

初日には、会期の決定、諸般の報告に続き、市長が提出議案の提案理由について述べました。

6日から11日までは、16人の議員が市政一般質問を行いました。

12日と13日は、4つの常任委員会で、付託された議案42件と請願1件を慎重に審査しました。

最終日となる17日の本会議では、各常任委員会から審査結果の報告を受け、賛否が分かれた議案について、2人の議員から反対の討論がありました。

常任委員会の審査状況

総務財政常任委員会

問 開成山屋内水泳場の指定管理者の応募状況は。

答 指定管理者申請予定説明会には、5者が参加したが、応募があったのは、今回提出した指定管理者の候補者1者であった。

環境経済常任委員会

問 富久山クリーンセンターの仮復旧後の処理能力は、被災前の何割程度なのか。

答 仮復旧ではあるが、リサイクルプラザは、従前どおり稼働しており、焼却施設については、水処理設備や発電タービン等は来年度に修繕の予定であるが、令和元年12月末には通常の処理能力による運転が可能となる。

建設水道常任委員会

問 市営住宅の入居について、高齢化の進展に伴い単身高齢者世帯など連帯保証人を確保するのが困難なケースの増加が想定される中、極度額を定めて連帯保証人制度を維持する理由は。

答 連帯保証人に代わり保証会社の機関保証を受ける場合、入居者の費用負担が発生することとなる。

このため、機関保証も認めるが、連帯保証を基本とすることとした。

文教福祉常任委員会

問 民間認可保育所に対し、保育業務のICT化に係るシステム導入の補助をすることにより期待される効果は。

答 保育に関する計画や記録、登降園等の管理が電子化され、手書きで作成していた指導計画や、手作業で行っていた延長保育料の計算が自動で行われるなど、保育士の負担軽減が図られる。

その後、採決の結果、災害からの公共インフラ復旧経費を含む一般会計補正予算（第7号）など議案2件を賛成多数で可決するとともに、郡山市営住宅条例の一部を改正する条例など議案40件を全会一致で可決したほか、請願1件を全会一致で採択しました。

また、追加提出された中野財産区管理委員選任の人事案件を全会一致で同意しました。

さらに、台風第19号被害による福祉サービス事業所の再開支援に関する意見書の議案を全会一致で可決しました。

次に、議会改革特別委員会を設置し、委員の指名、正副委員長の互選結果報告の後、全日程を終了しました。

議案の賛否一覧

賛否が分かれた議案は、次のとおりです。賛成は「○」、反対は「×」と表記しています。

件名	議決結果	会派の賛否（志翔会は、議長を除く。）								
		志翔会	新市政会	郡山市議会公明党	緑風会	社会民主党	日本共産党郡山市議団	虹とみどりの会	無所属の会	立憲民主党
		11人	10人	4人	4人	3人	2人	1人	1人	1人
補正予算 一般会計（第7号）	原案可決	○	○	○	○	○	×	×	○	○
その他 開成山屋内水泳場の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○

全会一致で可決した議案

補正予算	特別会計	一般会計（第8、9号）	郡山市教育支援委員会条例
		国民健康保険（第3、4号）	郡山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例
		後期高齢者医療（第3、4号）	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
		介護保険（第3、4号）	郡山市営住宅条例
		県中都市計画土地区画整理事業（伊賀河原（第1、2号）、徳定（第2、3号）、大町（第2、3号））	郡山市職員の給与に関する条例
		駐車場事業（第1、2号）	郡山市一般職の任期付職員の採用等に関する条例
		総合地方卸売市場（第2、3号）	郡山市語学指導等を行う外国人の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例
		熱海温泉事業（第2、3号）	郡山市医療介護病院介護医療院の指定管理者の指定について
		母子父子寡婦福祉資金貸付金（第2号）	専決処分の承認を求めることについて
		湖南簡易水道事業（第1、2号）	郡山市中野財産区管理委員の選任について
		水道事業（第2、3号）	
		工業用水道（第2、3号）	
		下水道事業（第4、5号）	
		農業集落排水事業（第3、4号）	



詳しい議決結果等は、こちらを御覧ください。



請 願

次の請願を全会一致で採択しました。

- 台風19号被害による福祉サービス事業所の再開支援に関する意見書の提出を求める請願

意 見 書

次の意見書を全会一致で可決しました。

- 台風第19号被害による福祉サービス事業所の再開支援に関する意見書

令和元年12月定例会

市政一般質問

● 今回の質問者数 16名

● 発言時間
質問・答弁をあわせて 60分

● 記事の内容について
掲載の質問や答弁は、要約していません。詳細は、議会中継や会議録を御覧ください。

● 録画中継
各記事のQRコードから、録画中継が御覧いただけます。

● 会議録
市ウェブサイトや次の施設で御覧いただけます。
・ 市政情報センター(市役所西庁舎1階)
・ 中央図書館・希望ヶ丘図書館
・ 安積図書館・富久山図書館

なお、令和元年12月定例会の会議録が御覧いただけるのは、2月中旬になります。



会議録検索システム

郡山中央工業団地に残る被災企業への支援について



志翔会 佐藤 さとう

栄作 えいさく 議員



本市の環境負荷の低減に向けた取組みについて

問 台風第19号の被害が特に甚大だった郡山中央工業団地に残る被災企業が行う、防災・減災対策等について、本市も積極的に支援していく必要があると考えるが見解は。

答 防災・減災対策の河川整備基本方針の見直し等について、国・県に強く要請しているほか、現時点の本市支援策として、災害対策資金融資、信用保証料及び利子への補助を開始したところである。

具体的な防災・減災への支援は、国・県による河川改修の内容等を踏まえ、必要とされる自衛措置などを整理し、各事業者の経営方針に沿った個別対応型の支援を行っていく。

問 本市は、国が推進する「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」に賛同すると表明したが、排出量実質ゼロに向け、本市独自のロードマップや実行計画を策定した上で、実効性のある取組みが必要だと考えるが見解は。

答 策定予定の地球温暖化対策の総合的計画「(仮称)郡山市地球温暖化対策総合戦略」において、再生可能エネルギー導入割合等、具体的数値に基づくと中長期的な温室効果ガス削減目標を定め、二酸化炭素排出量実質ゼロに向けた取組みを加速化させていく。



市役所に設置されている太陽光パネル



志翔会 川前 かわまえ

光徳 みつりの 議員



災害ごみの今後の見通しについて

問 台風第19号による災害ごみが、現在仮置場にあるが、今後の処理方法と処理の時期などについての見通しは。

答 災害ごみは、現在策定中の郡山市災害廃棄物処理実行計画により処理することになるため、可燃、不燃、家電リサイクル品、危険物や処理困難物に分別し、収集または自己搬入を受け入れてきた。
現在、家電リサイクル品や消火器などの処理困難物は、外部委託による処理を進めており、今後は、可能な限り分別、再生利用等を進め、処理の効率化を図ることにより、現時点では令和2年8月末の処理完了を予定している。

国に対する堤防計画の延長の要望について

問 台風第19号による災害発生後、市は徳定の無堤地区の解消を要望しているが、今回の阿武隈川の水があふれ出た状況を踏まえ、堤防整備を御代田橋まで延伸するよう国に要望するべきでは。

答 国の阿武隈川水系河川整備計画では、御代田橋先地点までは堤防整備が必要な区間とされており、今回、御代田橋右岸側で浸水被害があったことから、国や沿川市町村等による減災対策協議会で、堤防の延長について要望した。
今後も、早期実現を国に要望していく。



阿武隈川の御代田橋周辺

河川の樹木伐採及び堆積土砂の除去等について

問 台風第19号のような大雨被害の発生に備え、河川の樹木伐採及び堆積土砂の除去などの対策を早急に実施することが必要と考えるが見解は。

答 中小河川の流下を阻害する樹木が水位上昇の要因であり、これらの適切な管理が重要であることから、照内川の前倒しや洪水調整池の堆積土砂除去を実施するなど、大規模水害の軽減に取り組む。
今後は、照内川河道掘削の前倒しや洪水調整池の堆積土砂除去を実施するなど、大規模水害の軽減に取り組む。



樹木が繁茂する照内川

行健第二小学校放課後児童クラブ施設の増設について

問 行健第二小学校の放課後児童クラブは入会希望者が多いために1から3学年に限定しており、更に定員数を上回っている。
待機児童を解消するためには、施設の増設しか方策がないと考えるが見解は。

答 今後も児童数の増加や、保護者のニーズの高まりも想定されることから、更なる定員の確保が喫緊の課題である。
学校内の余裕教室の活用等について、関係部署と協議を重ねてきたが、課題解決には至らず、学校敷地内への施設の増設は極めて困難であると認識している。
今後は、課題等を整理し、関係部署、機関と更なる検討を進めていく。



日本共産党郡山市議団

岡田 哲夫 おかだ てつお 議員





新政会 三瓶 さんぺい

宗盛 かねもり 議員



6次産業化に係る支援策について

問 6次産業化に取り組む団体や個人に対して、PR活動も含めた支援に取り組んでいるのか。

答 事業立ち上げ時には、県の事業化支援の専門家等派遣制度や助成金窓口を案内しており、また、生産者の想いや取組みを取材し、SNSで紹介するフロンティアアフォーマーズや各種メディアへの情報提供などを実施している。

こおりやま食のブランド推進協議会でイベント等の出展費用の一部を助成し、取引拡大の機会創出を図っており、引き続き支援していく。



6次産業化製品
キャベツ餅スティック

今後の水道管路の更新計画について

問 昭和40年代に整備された水道管路の膨大な更新需要が見込まれるが、財政面も含め、今後どのような計画及び目標で耐用年数を経過した水道管路を更新していくのか。

答 平成30年3月に策定した水道施設更新・長寿命化計画では、40年間の管路更新費、約1千39億5千万円を含めた水道施設の更新・修繕費用に係る収支の見通しを長期財政フレームに盛り込んでいる。

重要管路更新の前倒しや、更新費用の平準化、将来の水需要に見合った適切な規模とする管路のダウンサイジング、スベックダウンによる更新費用の縮減に取り組んでいる。

自主防災組織とコミュニティの更なる充実について

問 適切な避難行動を促すためにも、自主防災組織とコミュニティの更なる充実を図る必要があると考えるが見解は。

答 今後、水害を念頭に、夜間を想定した訓練やセミナーの開催、自分自身の防災行動計画であるマイ・タイムライン等の普及などを通し、自主防災組織や町内会、アマチュア無線団体や各種ボランティアの方と更なる連携・協力等を図っていく。

災害対策は、市民全体で取り組むことが重要であることから、あらゆる市民団体に日頃の活動の中で常に防災意識を持っていただき、市民総参加により、更なる地域防災力の向上を図っていく。

県道二本松金屋線の改修について

問 東部地域の重要道路である県道二本松金屋線は、今回の水害では、各地で浸水により寸断されたが、今後の安全・安心なまちづくりのためにも、浸水地区の道路改修を強く県に働きかけていくべきでは。

答 道路管理者の県に、県と市が課題解決のため実施している「まちづくり意見交換会」において、冠水対策等の各種要望を行っており、今後も、これまでの道路整備要望に加え、災害時にも安全に通行できる道路環境整備について、積極的に働きかけていく。



台風第19号で冠水した
県道二本松金屋線



新 政 会
折 笠 正 議員
おりかさ
ただし



被災農地復旧への支援策について

問 台風第19号による被災農地の復旧には、農家に20%程度の費用負担が発生することだが、今回は河川の決壊など甚大な被害であることから、費用負担の軽減など更なる支援策が必要では。

答 今回の災害は激甚災害に指定され、これに伴い、農地災害復旧事業の補助率がかさ上げされるなど、国でも早期の復旧に向けて注力していることから、本市も農家の一日も早い復旧・復興を支援するため、負担軽減策を講じる。



川の水にえぐられた水田 (田村町谷田川地内)

不登校児童生徒への対応について

問 不登校児童生徒への支援は、学校のみならず関係機関が連携した組織的な対応が重要であると考えますが、本市の対応は。

答 不登校には、複数の要因が関連する事案もあるため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど心理や福祉の専門家が学校と連携して、原因の分析や対応策を協議し、家庭と協力して学校復帰への支援をしている。また、段階的な登校を促すため、保健室や適応指導教室等での個別の学習支援や体験活動とともに、フリースクール等とも連携しながら、学校復帰や社会的な自立を目指した支援を行っている。

事業者に対するグループ補助金制度について

問 被災した事業者への支援策であるグループ補助金制度について、事業者への的確なアドバイスの必要と考える。実際の窓口は県ではあるが、身近な市役所などが相談窓口や人材配置など、本市でも対応すべきと考えるが見解は。

答 本市では、経営相談窓口を設置し、各種支援制度の案内や支援機関との連絡調整等を実施している。今後は、グループ補助金等の申請手続きについて中小機構の復興支援アドバイザー制度等も活用しながら、国や県、支援機関等との連携を更に強化し、被災された事業者に寄り添った支援を行っていく。

被災者生活再建支援制度の改善について

問 生活再建支援制度は、支援金の支給が最大300万円で、対象が大規模半壊以上に限られており、改善が必要である。国や県に対して、支援金を最高500万円まで引上げることや、対象を一部損壊、家財道具被害にも広げることを求めるべきと考えるが見解は。

答 同制度における支給額の増額や適用範囲の拡大等について、全国市長会として、国に緊急要請したところであり、今後、国の動向を注視していく。



日本共産党郡山市議団
高橋 善治 議員
たかはし よしはる





志翔会 久野 ひさの

三男 みつお 議員



行合街道踏切の安全対策について

問 東西往来の重要な通路としての役割を担っており、台風第19号災害でも避難路となつた踏切に、新たに歩道用の通路を確保する考えは。

答 踏切拡幅や立体化等について、JR東日本と協議してきたが、電車の本数が多く踏切の延長が長いこと、東北新幹線桁下空間の確保や地下の雨水幹線等、多くの課題があり、整備が実現していない。本踏切は利用者が多いことに加え、台風第19号を受け、災害時の避難路としての重要性を再認識したところであり、利用者の安全性を最優先にセーフティコミュニティの推進を図るため、引き続きJR東日本と協議していく。

さくら陸橋の修繕について

問 郡山停車場線（昭和通り）を跨ぐ歩道橋は、設置から50年以上経過し、錆などもあり腐食している。地域の方々から安全対策等の声があり、県と協議しては。

答 歩道橋は、道路の老朽化対策として管理者による5年に1度の点検が義務付けられており、本歩道橋は、県が平成29年度に実施した法令点検の結果、早期に監視や対策を行う必要がある早期措置段階と診断されている。

今後、階段部や地覆の補修など必要な措置を実施していく旨、伺っている。



さくら陸橋（郡山駅前）

市議会ウェブページ

本会議や委員会の会議録、市議会中継などが御覧いただけます。

詳しくは郡山市ウェブサイトのトップページから、「郡山市議会」をクリックするか、「郡山市議会」で検索してください。



郡山市ウェブサイトアドレス
<https://www.city.koriyama.lg.jp/>

郡山市議会

検索



市議会ウェブページ
QRコード





新 政 会
栗 原 晃

あきり
議員

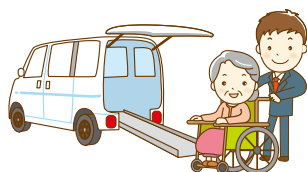


協定事項の見直しについて

問 本市と郡山地区ハイヤータクシー協同組合との協定について、高齢者等に対する避難開始発令時点で要請事項が発動され、要配慮者が自宅から避難所へ避難できるように、見直しを早急に行うべきでは。

答 自力で避難できない要配慮者については、避難支援者または自主防災組織等に、避難支援をお願いしており、令和元年8月の総合防災訓練でも、要支援者の緊急避難を目的とした訓練等を行った。

今後、自助及び自助を核とした共助の重要性の周知・啓発に努め、地域災害対応能力の向上を図っていく。



ひきこもり専門部署の新設について

問 8050問題は、80代の親が50代の子どもの生活を支える状況で、ひきこもりの子どもが中高年となり、高齢化した親の介護問題等も抱え行き詰まる問題である。

本市でも、明石市や神戸市のような専門部署を新設すべきでは。

答 ひきこもり対策の総合的な情報共有や課題整理の協議を行っている郡山市生活困窮者自立支援地域ネットワーク協議会等との連携強化や実態把握に努め、実情に即した効果的な対策の推進とともに、取組み成果や課題を検証しながら、専門職を配置した専門部署設置の必要性を含め、支援のあり方を検討していきたい。



志 翔 会
大 城 宏之

ひろゆき
議員



鯉食キャンペーンについて

問 1月から行われる鯉食キャンペーンの計画内容は。

答 本事業は、生産量日本一である本市の鯉の消費拡大と郷土料理としての定着を目的に、鯉に恋する郡山プロジェクトの一環として、2月14日までの期間で開催する。

今回は、鯉商品等を購入・飲食した方に、ツイッターやインスタグラム等で投稿してもらい、抽選により本市の特産品を贈呈するキャンペーンを行い、販売促進と情報の拡散を図る。



食品ロス削減に向けた料理の持ち帰りについて

問 消費者の自己責任の範囲での持ち帰りは可能ではないかと思うが、「持ち帰り希望者への対応」を明確に掲げて、注意事項を示して、食べ残しゼロを目指すよう指導監督すべきでは。

答 事業者に対しては、持ち帰る場合には、十分加熱された料理を持ち帰ってもらい、外気温が高いときは持ち帰りの休止や保冷剤の提供などを指導していく。

また、市民に対しては、持ち帰りは帰宅後に再加熱が可能なものにし、帰宅後できるだけ速やかに食べる、帰宅までに時間がかかる場合は持ち帰りをやめるなどを啓発し、食中毒防止の取組みを行う。



郡山市議会公明党

山根 悟 議員



外水氾濫対策について

問 外水氾濫対策として、過去の水害の経験からどのような対策を進めてきたのか。

答 過去に浸水被害が発生しており、対策が必要な市管理河川の改修事業を進めてきた。今後は、浸水状況等を迅速に把握するため、阿武隈川沿川の監視カメラを補完する市独自のカメラ設置や、浸水常襲地域にある河川に水位計、流向計の設置など、(仮称)郡山市河川監視ネットワーク網の検討を進めていく。



決壊した谷田川

マイ・タイムラインの今後の取組みについて

問 令和元年9月の市政一般質問で、各世帯や事業所ごとに災害発生に備えた行動計画であるマイ・タイムラインの導入について、実証的に作成や準備していくとのことだったが、今後どのように取り組むのか。

答 マイ・タイムラインの作成方法や様式をウェブサイト等に掲載するとともに、防災訓練等で作成コーナーを設けるなど、あらゆる機会において周知を図っていく。

また、一人では気づかない災害リスク等については、住民同士での意見交換も重要であることから、町内会等に家族で散歩を楽しみながら避難場所を確認する「防災さんぽ」の啓発を図っていく。

広域的な医療体制の構築について

問 高度な医療サービスの提供のため、構成市町村との医療体制の広域連携に関する調査検討を行うとしているが、どのような事業が考えられ、協議が進んでいるのか。

答 こおりやま広域連携中枢都市圏連絡推進協議会の専門部会で医療・福祉・子育てワーキングを昨年度より実施し、明確化された課題解決のため、必要な基幹統計をはじめとした医療や介護等の情報提供要請と、在宅、周産期、小児、救急の各医療に関するアンケートを平成31年1月に圏域市町村に対し実施した。

今後、データ等の集計・分析を行い、課題解決を図るための事業や施策について圏域市町村と協議していく。



郡山市議会公明党

但野 光夫 議員



高齢者健康長寿サポート事業の利用施設拡大について

問 70歳以上の方へ温泉等の利用券を交付しているが、地域資源を活用した地域経済の拡大と連携中枢都市圏域内の住民との交流を促進するため、利用券が使用できる温泉を圏域市町村まで拡大しては。

答 連携中枢都市圏の中には、本市と同様に高齢者の行政区域内の温泉等施設利用料を助成している自治体もあることから、こおりやま広域連携中枢都市圏連絡推進協議会の医療・福祉・子育てワーキングにおいて協議し、圏域内の自治体及び事業者と連携、調整していく。

今後、データ等の集計・分析を行い、課題解決を図るための事業や施策について圏域市町村と協議していく。



高齢者健康長寿サポート事業利用券



虹とみどりの会

蛇石

郁子 議員



今後の郡山駅周辺の浸水軽減対策について

問 郡山駅周辺の浸水軽減対策を今後どう進めていくのか。

答 郡山駅前周辺地区の浸水被害軽減のため、郡山市ゲリラ豪雨対策9年プランに位置付けた3号幹線放流管は、令和4年度までに完成予定で、放流管整備に伴い流入雨水が増加するため、雨水ポンプ1台を増設する計画である。

本市ゲリラ豪雨対策9年プランは、総事業費約235億円の計画で、今後も多額の事業費が必要となるため、国、県等への要望活動を積極的に行うとともに、関係機関と調整を図り完成を目指していく。



冠水した郡山駅東地区

パワハラ問題への教育委員会への対応について

問 「市内小学校で教職員に対する管理職のパワハラスメント行為の疑いがあった問題を受け、市教育委員会は、臨時校長会議を開いた」との報道があった。

パワハラ、セクハラ、マタハラ等防止の徹底をどのように進めていくのか。

答 本市教育委員会では、パワハラなど教職員の不祥事は、教育に対する信頼を損なうだけでなく、児童生徒への影響も大きいことから、これまで、校長会議等あらゆる機会を通して指導の徹底を図ってきた。今後も、管理職を含め一人一人の教職員が、より一層高い倫理観のもと職務に専念するよう指導を継続し、不祥事絶無を徹底していく。



社会民主党

柳田

尚一 議員



水道事業のコンセッション方式について

問 コンセッション方式は、自治体等から民間事業者が水道施設運営権を買い取り、事業を運営し、市民から直接料金を徴収するが、本市は、改正水道法におけるコンセッション方式に関する制度改正について、どう考えているのか。

答 今回の改正では、事業の確実かつ安定的な運営のため、国や自治体の関与を強化し、給水責任は自治体に残しているのが特徴である。

本市としては、組織統合の効用を最大限発揮できるように努め、引き続き国や他自治体の民間活用動向を注視していく。



郡山市水道キャラクター きららん

災害見舞金について

問 台風第19号による本市の家屋浸水被害状況は、半壊、一部損壊が大部分を占めるため、多くの被災者が国の被災者生活再建支援制度の対象外となる。

現状の災害見舞金のみでは、市民生活の復興・復旧に十分ではないと考えるが、見舞いは、

答 半壊または一部損壊の世帯への支援について、県市長会として県へ要望したところであり、県の新たな支援制度に関する予算案が出されたので、県の動向を踏まえ、現制度において、被災者に対して速やかに対応できるよう体制を整えていく。



無所属の会

やない
矢内 箭内

よしひこ
好彦 議員



風呂の設置負担について

問 台風19号で被災した高齢者が、仮住まいとして市営住宅に移ったが、風呂設備を自分で準備しなければならず、自宅に戻った方がいた。

市営住宅に入居する場合、浴槽と風呂釜は、入居者の負担で設置することになっているが、風呂を自分で設置するというのは改善しなければならぬと痛感するが見解は。

答 風呂は、入居者が日常生活を送る上でも重要であると認識していることから、入居者へのサービス向上や入退去時の負担軽減を図るため、すでに自ら設置している方との均衡等について考慮し、入居者が安心して暮らせるような住環境の整備を検討していく。

子育てサポートブックの活用状況について

問 郡山市子育てサポートブックは、子どもが大人に成長していくまでの育ちの情報や、サポートの経過を共有し、各機関で連携して子どもの育ちを支えるための記録であるが、現在までの活用状況は。

答 ウェブサイトへの掲載、チラシの配布等で周知し、保護者への配布で活用を図った。さらに、小中学校の保護者が作成する教育相談票の一部をサポートブックと統一することで、保護者と学校で情報の共有ができ、切れ目のない支援につなげるなど、活用の幅を広げている。



郡山市子育てサポートブック

浸水ハザードマップの改訂について

問 9月3日から12日にかけて開催された改訂に係る住民説明会での「とにかく水害が起きないようにして欲しい」との住民の意見や要望、さらには台風第19号の教訓をどのようにに生かしていくのか。

答 水防法改正により阿武隈川及び逢瀬川が、新たな洪水浸水想定区域に見直されたことから改訂に着手している。

住民説明会での避難経路等の意見、質問をもとに活用方法や地下道の危険性等を記載するとともに、台風被害を踏まえた浸水エリア等を表示し、年度内の公表を目指していく。



浸水ハザードマップ

各小中学校でのインターネット依存の予防策について

問 厚生労働省の推計によるとインターネット依存が疑われる中高生は平成29年の調査で93万人となっている。

各小中学校において、インターネット依存や事件を防ぐため、どのような予防策を図っているのか。

答 各学校においてネット依存やSNSによる被害防止を含めた情報モラル教育を行っており、市PTA連合会及び市小中学校長会と連携し、リーフレット等を配布している。さらに、毎年、情報モラル講座を開催し、ネット依存やSNSに潜む危険性から児童生徒を守る指導のポイント等について研修を行っており、今後も児童生徒の情報リテラシーの育成に努めていく。



社会民主党

やえがし
八重樫

さよこ
小代子 議員





ぜひ、市議会へお越しください！

本会議や委員会の様子を、どなたでも御覧いただけます。
議会の活動にふれるための身近な機会ですので、ぜひお越しください。



代表質問のイメージ

質問・答弁合わせて
交渉会派(4人以上):1会派 80分
非交渉会派(2~3人):1会派 40分

1日目	
1人目(交渉会派)	10:00~11:20
休憩15分	
2人目(交渉会派)	11:35~12:55
昼休憩60分	
3人目(交渉会派)	13:55~15:15

⋮
※予定時間は、変更になる場合があります。

市政一般質問のイメージ

質問・答弁合わせて1議員 60分

1人目	10:00~11:00
休憩15分	
2人目	11:15~12:15
昼休憩60分	
3人目	13:15~14:15
休憩15分	
4人目	14:30~15:30
休憩15分	
5人目	15:45~16:45

⋮
※予定時間は、変更になる場合があります。



本会議を傍聴する郡山市立御館中学校の生徒たち

	本会議	委員会
受付場所	西庁舎7階 傍聴受付	西庁舎6階 議会事務局
受付時間	会議開始30分前 から	会議開始40分前 ~20分前
定員	74人 ※先着順	各委員会 15人 ※定員を超えた場合 は抽選

議会改革特別委員会の設置

◇設置日

12月17日

◇目的

議会改革の推進及び議会のあり方について調査・研究する。



(前列右から) 佐藤 徹哉 栗原 晃 今村 剛司 委員長 佐藤 政喜 副委員長 渡部 龍治 蛇石 郁子 川前 光徳 (後列右から) 吉田 公男 森合 秀行 飯塚 裕一 折笠 正 岡田 哲夫 箭内 好彦 山根 悟

委員会の活動状況等は、市議会ウェブページで随時お知らせします。

委員等変更のお知らせ

■議会運営委員会

11月22日、名木敬一議員が委員を辞任し、同日付けで今村剛司議員が選任されました。

■建設水道常任委員会

12月12日、大木進議員が副委員長を辞任し、同日付けで柳田尚一議員が副委員長に選任されました。

議会の豆知識①

郡山市議会委員会条例では、委員等の辞任について、次のように規定されています。

- ◇議会運営委員が辞任するときは、議長の許可を得なければならない。
- ◇委員長または副委員長が辞任するときは、委員会の許可を得なければならない。

請願・陳情の方法

～ 市議会へ、いつでも、どなたでも要望を伝えることができます ～

	請 願	陳 情
受付	市政一般質問初日の午後5時 ※定例会中に審議を希望する場合	開会日翌日の午後5時 ※定例会中に議員への配付を希望する場合
取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ●関係する委員会で審査の上、本会議で審議し、採択・不採択を決定します。 ●採択した請願のうち、市の事務に関するものは市長等へ送付し、処理の経過や結果の報告を求めます。国・県等の事務に関するものは意見書を提出します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●陳情書の写しを各議員に配付します。

請願書

年月日
郡山市議会議長様
(請願者住所)
(請願者氏名) ㊟
(紹介議員) ㊟
〇〇〇について
請願趣旨
請願事項

紹介議員が
必要

紹介議員は
不要



陳情書

年月日
郡山市議会議長様
(陳情者住所)
(陳情者氏名) ㊟
〇〇〇について
陳情趣旨
陳情事項

政務活動費検討委員会の設置

政務活動費の運用について、全国的に
 監査や訴訟で指摘される事例が散見され
 ることなどから、より適正な運用を図る
 ため、10月28日に「政務活動費検討委員
 会」を設置しました。



(前列右から) 蛇石 郁子 高橋 善治 委員長 會田 一男 副委員長 佐藤 栄作 大城 宏之 但野 光夫 (後列右から) 三瓶 宗盛 柳田 尚一 佐藤 徹哉 大木 進 福田 文子 村上 晃一

◇課題・検討事項

- 1 最新判例を踏まえた対応について
- 2 タブレット導入に伴う取扱いの変更について
- 3 改選期の取扱いについて
- 4 行政調査について

政務活動費について

政務活動費とは？

議員の行う調査研究その他の活動に必要な経費の一部として支給される費用をいいます。地方自治法では、「その用途の透明性の確保に努めるものとする」と明記されています。

郡山市政務活動費の手引き

政務活動費のより適正な執行のため、支出にあたっての判断基準となる手引きを策定しています。また、見直しなどの必要が生じた場合には、協議することとしています。

本市の交付概要

交付対象	会派 (所属議員が1人の場合を含む。)
交付額	議員1人当たり月額10万円
収支報告	会派は、収支報告書等を作成し、領収書などの支出を証する書類の写しを添付して、議長に提出します。

情報公開

政務活動費収支報告書や領収書等の公開を行っています。ウェブページのほか、次の場所でご覧いただけます。

- ・市政情報センター（市役所西庁舎1階）
- ・議会事務局（市役所西庁舎6階）



詳しくは、市議会ウェブページを御覧ください。



議会の豆知識②

- **特別委員会とは** —————
 特定の事項を審査するため、必要に応じて設置する委員会です。
- **常任委員会とは** —————
 予算・条例などの議案や、請願などを専門的かつ効率的に審査する委員会です。本市議会には、4つの常任委員会があります。
- **議会運営委員会とは** —————
 議事日程や議会関係の条例など、議会運営の全般について協議する委員会です。



委員会の様子

※関連項目…常任委員会の審査状況（2頁）、議会改革特別委員会の設置・委員等変更のお知らせ（14頁）

3月定例会開催予定

3月定例会は、2月19日からの予定です。
 なお、正式な日程は、定例会初日に決定するため、変更となる場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
2/16	17	18	19	20	21	22
			本会議一閉会	議案調査 (休会)		
				※陳情締切		
23	24	25	26	27	28	29
					議案調査 (休会)	
				事務整理日(休会)		
3/1	2	3	4	5	6	7
					本会議 (代表質問)	
			事務整理日(休会)		※請願締切	
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

- ・本会議の様子をインターネットで生中継いたします。
- ・生中継は、各行政センター、緑ヶ丘ふれあいセンター、ビッグアイ6階の市民プラザ（月曜日を除く。）でも御覧いただけます。
- ・録画中継は、生中継の4日後（土・日曜日及び祝日を除く。）から公開します。



市議会中継 QR コード

市議会のはなし

市議会のしくみを分かりやすくまとめた冊子を発行しています。



こおりやま市議会だより

- 行政センター、公民館、図書館などの公共施設に配置しています。
- 視覚が不自由な方のために、点字版・音声版を発行しています。

姉妹都市から 支援金が寄せられました

郡山市と姉妹都市である鳥取市の市議会議員の皆様から、台風第19号による災害に対し、支援金が寄せられました。

編集 後記

今号の表紙は、台風第19号により被災し、近隣の小中学校に分散して授業を行っていた赤木小学校の子どもたちが、自校での授業を再開した日の登校風景です。子どもたちにも笑顔が戻りました。

このたびの災害は、子どもたちも含め、多くの市民に物心両面にわたり大変な御苦労をもたらしました。被害に遭われた皆様が一日も早く元の生活を取り戻せるよう、今後も全議員一丸となって復旧・復興に向けて取り組んで参ります。（名木）